

令和元年度(2019年度)
たかしま市民協働交流センター協議会
事業報告書

令和2年(2020年)3月31日

高島市今津町中沼 一丁目4-1
たかしま市民協働交流センター協議会

目次

I 運営委員会・総会など

II たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

- (1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2) 団体登録
- (3) Web 情報発信

2. 相談支援事業

- (1) 相談件数
- (2) 出張相談会
- (3) コピー・大判プリント等対応記録

3. 協働提案事業

4. 高島市まちづくり推進会議

5. 地域自治課題解決支援事業

- (1) 集落座談会意向調査
- (2) 集落座談会実施支援
- (3) マキノ北地域の移動支援
- (4) 地域自治組織あり方検討委員会

6. 研修等参加記録

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録

7. 生活支援コーディネーター

8. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

III 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

2. ロビー展示他

3. 自主事業

I. 運営委員会・総会など

(1) 会員数・会議記録

会員数

正会員39名、賛助会員11名（団体、個人）（2019年6月）

第1回 4月16日（火）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室3
出席者5名、欠席者6名
・平成30年度事業報告、決算報告
・平成31年度事業計画、予算
・NPO法人設立準備 ・総会講演会

第2回 5月17日（金）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室3
出席者8名、欠席者3名
・平成30年度事業報告、決算報告
・平成31年度事業計画、予算
・NPO法人設立準備 ・総会講演会

第3回 6月21日（金）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室3
出席者8名、欠席者3名
・規約の変更について ・解散について
・NPO法人の設立総会について

総会 6月29日（土）10:00～12:00
今津東コミュニティセンター ホール
出席者21名、欠席者18名
・2018年度事業報告、決算報告
・2019年度事業計画、予算
・規約の変更
・解散手続きについて

講演会 15:00～16:30

「10年後のたかしまを見据えて

～まち・むらの課題を、まち・むらで解決するために～

講師：川北秀人さん IIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表

参加者 60名

参加者の声

- ・具体的に高島の現状を数字で示されて危機感が伝わりました。今すぐ行動しなくては！と思いました。
- ・将来の地域を考えることの大切さを教えていただいた。
- ・私たちが日ごろ見過ごしている事を指摘された気がする。常に問題意識・課題への取組を考えた行動を行いたい。 など



第4回 9月13日(金) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター 会議室1
出席者8名、欠席者3名

- NPO 法人認証申請の進捗
- 今年度事業の進捗について
- 指定管理料の変更および会計について

第5回 2020年1月24日(金) 18:00~19:15
鳥居楼
出席者10名、欠席者1名

- NPO 法人コミュニティねっとわーく高島の事業について
- 1月~3月の事業について

(2) 特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島の設立経過

当協議会の事業を引き継ぎ、より活動を継続的に展開する目的を持つ特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島の設立手続きは、当協議会の運営委員会においても情報共有しながら進めた。

8月 滋賀県 県民活動生活課 県民活動・協働推進室および大津地方法務局へ
提出書類の事前確認

9月 滋賀県へ認証申請書類提出

10月~11月 滋賀県から訂正箇所等の問合せ、修正、確認など

12月11日 滋賀県より認証

12月24日 登記

2020年1月 滋賀県へ設立登記完了届提出

Ⅱ. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目的>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業を取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体や組織が紙面をとおしてつながることを目的に作成・配布を行った。

また、今年度から市内の活動団体のイベント情報等を掲載する「伝言板」を別紙として作成し、団体の広報支援および市民の参加を促す目的で配布した。

作成した情報誌・伝言板は、全戸配布と公共施設での配布に加え、市内の協力店舗や観光施設でも設置を依頼し、より多くの市民の目に触れることをめざした。

<成果>

当初の計画通り年4回発行し、配布を行った。伝言板は市内のNPO法人、市民団体、ボランティアグループ等、19団体26件のイベント等の情報を掲載し、発信することができた。配布先は新たに市内の協力店等20か所を増やすことができた。

① 発行・配布実績

発行部数：各回とも18,000部

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関（銀行、JA、郵便局）、市内小中学校、市内観光施設、JR駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗、滋賀県内各市民活動支援センター等

② 紙面構成

○本誌（A4仕上げ4ページ）

1ページ(表紙)

- ・当センターの事業紹介

2ページ

- ・「はっけん！きらっと市民活動 in たかしま」市民活動団体の紹介 2団体

3ページ

- ・「高島の元気企業」地域貢献に意識の高い事業者を取材し、経営理念や地域への想いを聞く
- ・「市民活動質問箱」市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供

4ページ(裏表紙)

- ・当センター事業告知、広告

○イベント告知「おむすび・たかしま伝言板」（A4両面2ページ）

本誌およびメルマガ等で市内の団体に情報募集を周知し、市民活動団体のメンバー募集やイベント案内を掲載した。

◆43号 7月1日発行

1. 表紙：「10年後の高島市を見据えて～まち・むらの課題を、まち・むらで解決するために～」 たかしま市民協働交流センター協議会 総会講演会
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）：
 - ・点字グループゆび
 - ・わつなぎの会
 - わつなぎ食堂
3. 市民活動質問箱：助成金申請書の書き方について
4. 高島の元気企業：エーゼロ株式会社高島しこぶち事業所
5. インフォメーション
 - ・今津東コミュニティセンター休館
 - ・たかしま市民協働交流センター移転
 - ・市民活動&ボランティアグループのなんでも相談会&ちょこっとセミナー
 - ・スタッフ紹介
6. 広告<2件>：放課後等デイサービスみんなのね、マキノ高原観光株式会社
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計9件
 - ①舞桜嵐②トンボとその仲間たち③寄里藍(よりあい)④オーガニック給食委員会⑤高島市視覚障害者福祉協会⑥高島市びわこ水源の森活用委員会⑦湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑧ちいさなFreude 音楽会⑨高島市の図書館を考える会

◆44号 10月1日発行

1. 表紙：第3期 高島市まちづくり推進会議がはじまりました
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）：
 - ・オカリナのんのん
 - ・まるくもくらぶ
3. 市民活動質問箱：イベントや講座の広報について
4. 高島の元気企業：有限会社 橋本燃料
5. インフォメーション
 - ・今津東コミュニティセンター休館
 - ・たかしま市民協働交流センター移転
 - ・市民活動&ボランティアグループのための相談会&ちょこっとセミナー
 - ・「たかしま市民活動交流会」実行委員募集中
6. 広告<2件>：有限会社ほんだ建築、スタジオエリコ
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計9件
 - ①みつばちオーガニックマルシェ②NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)③結いの里・椋川④広瀬のコレカラつくろう会(2件)⑤NPO 法人元気な仲間(高島市働く女性の家)⑥ナルクびわこ高島⑦今津ふくしの会⑧男のまかないクラブ

◆45号 2020年1月1日発行

1. 表紙：「たかしま炭焼き交流会2020」
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）

- ・手話サークル 手ではなそう
 - ・Flat きっかけとの出逢い場（特定非営利活動法人びわの音・西近江）
3. 市民活動質問箱：地域のサロンに子どもたちも参加してほしい
 4. 高島の元気企業：美食倶楽部
 5. インフォメーション
 - ・今津東コミュニティセンター3月再開予定
 - ・たかしま市民協働交流センター再移転について
 - ・市民活動&ボランティア活動のための相談会
 - ・たかしま市民活動交流会 2020 参加団体募集
 6. 広告<2件>：パソコン年輪、パン・ドール
 7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計8件
 - ①湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部②ナルクびわこ高島③NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)④NPO 法人絵本による街づくりの会⑤男のまかないクラブ⑥高島市の図書館を考える会⑦NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ⑧高島市びわこ水源の森活用委員会

◆46号 4月1日発行

1. 表紙：「まちづくりは参加するからおもしろい」
NPO法人コミュニティねっとわーく高島 総会講演会
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）：
 - ・NPO 法人高島倶楽部 トゥインクルスターズ
 - ・郷土料理伝承の会
3. 市民活動質問箱：「協働提案事業制度」について
4. 高島の元気企業：有限会社 綿庄食品店
5. インフォメーション
 - ・たかしま市民協働交流センターのサービスご案内
 - ・おむすび・たかしま伝言板への掲載情報募集中
 - ・今津東コミュニティセンターの会議室について
 - ・NPO 法人コミュニティねっとわーく高島 会員募集中
6. 広告<2件>：NPO 法人 TSC、(公社) 高島シルバー人材センター
7. おむすび・たかしま伝言板（発行中止）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記載予定だったイベントをほぼキャンセルするとの連絡を受け、伝言板の発行を中止した。

43号



44号



45号



46号



43号伝言板



44号伝言板



45号伝言板



(2) 団体登録

団体登録リスト 156 団体

市民活動団体の情報誌やチラシなどを団体ファイルに保存し、市民が情報を閲覧できるようにしていたが、今津東コミュニティセンターの改修工事に伴い閲覧に供するスペースがなくなったため一時的に撤去した。開館後、琵琶湖周航の歌資料館の移設に伴い1階オープンスペースのレイアウトが大幅に変更されたため、閲覧方法検討中。

(3) WEB 情報発信

<目的>

当センターのホームページでは、市内で活動する多様な団体を市民に伝えるために、市民活動団体一覧の充実をめざしている。また、市民団体の広報と資金集めの支援を目的に、市内外の市民団体によるイベント情報や助成金情報を広く集め、ホームページのほか、ブログ、フェイスブック、ツイッター、メールマガジンなどのWebサービスと連携させて運用し、タイムリーかつ多様な方法での情報提供をめざしている。

当センターの活動についての理解を広める目的で、ホームページ上では基本情報、事業報告と決算、情報誌の内容を公開している。

<成果>

今年度は、市内の市民活動団体の掲載数に変動はなかったものの、各団体の掲載情報の更新を行った。情報誌掲載ページには、今年度から「おむすび・たかしま伝言板」

も掲載し、ホームページでも各団体のイベント等の広報を支援することができた。

ブログ掲載内容はフェイスブック等でも同時に発信し、常にリーチ数が50～100件あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。

① ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

市内の市民活動団体一覧掲載数 91 団体

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」の内容などを掲載した。

市内の市民活動団体一覧には、市内の多様な市民活動などを<子育てサポート><子どもの体験><文化・歴史><福祉・保健>など13ジャンルに分類し、各団体の代表者、連絡先、活動内容を掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

<2019 年度 掲載実績>

センターからのお知らせ	21 件
助成金情報	95 件
高島市の市民活動情報	54 件
滋賀県・全国の市民活動情報	73 件
ボランティア募集情報	4 件
行政、企業からのお知らせ	32 件
たかしまの森へ行こう！関連	22 件
イベントレポート	8 件
その他	2 件
計	311 件



- ③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>
主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



- ④ ツイッター：<https://twitter.com/koryusenta>
ブログに掲載した情報の拡散に活用した。



- ⑤ メールマガジン
受信登録件数 159件（2020年3月末現在）
発行回数 24回（月2回発行）
内 容 当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

2. 相談支援事業

<目的>

市民活動団体やボランティアグループ、事業者など多様な組織からの相談に対応し、団体やグループの持続的な運営のための支援を行う。また、当センターのネットワークを活かしたコーディネートを行い、多様な組織のつながりを拡げることを目的として事業を行った。

<成果>

相談内容の分類については、県内の市民活動センター意見交換会において、各センターの相談内容や相談者を把握するために、共通の分類を用いることとなったため、一部変更した。

今年度の相談では、他団体とのコーディネートに関する内容が増加した。市内の多様な団体とのネットワークを持つ当センターの特性を活かして対応できた。団体紹介や防災関係で連携のある研究者へつなぐなど、これまでのセンターの実績を活かした対応が増えた。団体紹介では「おうみ社会貢献賞」へ3団体を推薦し、全て表彰された。

継続相談は新たな団体が増えた。(前年度からの継続2件、新たな団体3件)

市内公民館での出張相談会は、新たな相談者との出会いにつながった。

市民活動団体の資金調達に関する研修会を年度末に開催予定だったが、感染症対策の観点から次年度へ延期した。

(1) 相談件数 105 件 (109 時間)

	相談内容	件数	時間数
1	NPO 法人・NPO 設立	0	0
2	NPO 法人・NPO 解散	0	0
3	コーディネート (団体等へのマッチング・紹介)	49	54
4	助成金・寄付相談	6	8
5	実務 (経理、税理、労務など)	3	1.5
6	協働 (協働提案事業関連含む)	9	13
7	事業計画	5	7.5
8	情報発信	11	7.5
9	組織運営 (規約、会計、会議運営など)	9	8.5
10	センターの活動について	12	8
11	その他	1	1

相談者

	組織	のべ件数
1	NPO 法人	13
2	任意団体	30
3	地縁組織	3
4	財団法人・社団法人	3
5	社会福祉法人	7
6	営利事業者	0
7	公的機関	6
8	教育機関	13
9	その他	13

○継続相談について

① 美化活動はなのみち 10回

琵琶湖周航の歌資料館の移転にともない、活動停止を検討される状況もあったが、活動の継続を検討され、相談に対応してきた。本団体は、高齢者が生きがいを持って環境美化に取り組む活動であり、高齢者グループのモデル的な取り組みである。高齢化とメンバーの固定など、継続には課題はあるが、地元小学校や応援者の声と力を集める支援を継続していきたい。

② 今津東小学校 3回

戦争体験を話してくれる地域の高齢者を紹介してほしいとのことで、中浜区、北浜区、西区など近隣の区の方から紹介いただいた方に確認し、小学校へつないだ。

また、昨年に引き続き卒業制作でプランターカバーを制作し、美化活動はなのみちへ寄贈したいと相談があり、学校と活動団体等とのコーディネートをした。1月には、卒業制作事前学習として、美化活動はなのみちが活動への思いを話し、高島市森林組合が間伐材の活用の意義について、プランターカバーのキットを制作した岡本木材から製材所の仕事について授業で話をしていただいた。学校では継続的な取り組みを希望されており、コーディネートを継続していきたい。

③ 朽木中学校 3年生「朽木の未来を考える授業」 5回

昨年に引き続き、3年生の総合的な学習のまとめとして、朽木の未来について、子どもも地域の大人も一緒に対話する機会を持ち、故郷のことを考える授業の実施について朽木中学校から相談があり、協働で実施した。授業の組み立てと地域で活動する4団体「朽木住民福祉協議会」、「NPO 法人麻生里山センター」、「子育てグループきりかぶの会」、「上針畑防災福祉組」との調整をセンターが行い、中学校は保護者と朽木東小学校6年生の授業への参加について調整した。1月23日、30日の授業では、地域の活動グループから5名、保護者や卒業生、小学6年生など約20名が出席し、3年生と対話することができた。

④ フードバンクびわ湖 6回

フードロスを減らし、必要とされる家庭や子ども食堂などへつなぐための取り組みについて、関連組織が相談する機会を継続的に持ってきた。フードバンクびわ湖の呼びかけで、市環境政策課、市社会福祉課、市社会福祉協議会、当センターで定期的に会議を持ち、フードバンク活動に関して、協力者等についての情報交換や意見交換を行ってきた。行政と民間の協働事例のモデル的活動であり、継続的に対応していきたい。

⑤ 社会福祉法人たかしま会 地域貢献「地域の足」事業 2回

高齢者の移動が課題となっているマキノ北地域へ法人の送迎用車両を運行する「地域の足」事業について、次年度からの実施に向けてマキノ支所、市社会福祉協議会、当センターが、事業内容へのアドバイス、対象地域の区長へのつなぎなど協働で相談対応している。運行後も定期的な見直し機会が持たれる予定。今後、運転や利用者対応されるボランティアの募集等について対応していきたい。

(2) 出張相談会

各地の公民館で出張相談会を行った。

広報は、つながりのある市内の活動団体へメールの案内、情報誌おむすび・たかしま、当センターのメールマガジン、広報たかしま、防災無線を活用し、チラシは公共施設に設置した。

相談件数 4件

- ① マキノ土に学ぶ里研修センター
7月3日(水) 14:00~16:00 相談1件
10月31日(木) 10:30~12:00
2月14日(金) 10:30~12:00

- ② 高島市働く女性の家
7月2日(火) 10:00~12:00 相談1件
11月8日(金) 19:00~20:30
2月5日(水) 19:00~20:30

- ③ 新旭公民館
7月4日(木) 19:00~21:00
10月30日(水) 19:00~20:30 相談1件
2月6日(木) 14:30~16:00

- ④ 安曇川公民館
6月19日(水) 19:00~21:00
10月25日(金) 10:30~12:00
2月3日(月) 19:00~20:30

- ⑤ 朽木公民館
6月21日(金) 15:00~17:00
11月6日(水) 14:30~16:00
2月7日(金) 14:30~16:00

- ⑥ 高島公民館
6月20日(木) 14:00~16:00
10月24日(木) 14:30~16:00 相談1件
2月18日(火) 10:30~12:00

(3) コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 107件(東コミセン改修工事に伴い移転したため減少)(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	12	11	10	6	9	10	6	2	0	11	10

② 機材貸出 4件(プロジェクターの貸出 3件、ビデオカメラの貸出 1件)

3. 協働提案事業

<目的>

地域課題の解決に対し、市民活動団体と行政が、それぞれの特性を活かす活動によって効果が発揮される事業を募集し、実施することを目的としている。当センターは、スムーズな事業推進を目的に、募集の周知等を行った。

<成果>

事業説明会では、参加者の質問等から本事業への期待や理解について知ることができた。

今年度の応募者は無かった。

協働提案事業は、小規模な団体の一部地域での協働事例でも、協働のモデル的な活動となるのであれば積極的に広報することで市民に協働のイメージを伝えることができる。次年度は、市内外の小さな協働事例などについて紹介する機会を作り、市民が応募しやすくなる情報発信をしていきたい。

事業説明会

8月7日(水) 19:00~20:00 市役所

参加者5名

4. 高島市まちづくり推進会議事業

<目的>

本会議は、市民が高島市の現状を把握し、将来社会に向けて、事業者や市民のあり方、行政の取り組み、市民と行政が協働で取り組むべきことなどについて、根拠ある提案ができることを目指している。

第3期一年目として、高島市の課題となっている以下のテーマについて、市民が現状を把握し、次年度の活動に向けての基礎情報を知り、課題の構造を理解し、活動の方向を決めることを目的として活動を進めた。

テーマ1. 市内のバス交通のあり方

テーマ2. 地域とのつながりを生み出すための地域行事

<成果>

委員の公募により、10代から60代の幅広い市民の参加につながった。

テーマ1について考える「バス交通グループ」では、委員が市の現状を把握するため、行政からヒアリングを行い、またバスに関する年表作成をとおして歴史的な経過を理解することができた。バス利用者等へのアンケート調査など次年度の活動について検討を始めることができてきた。

テーマ2について考える「地域行事グループ」は、地域行事に関する委員同士の意見交換によって、世代によって地域行事への参加や関わり方が異なり、地域コミュニティに関する考え方、必要性、課題感に大きな隔たりがあることが理解された。グループとして注目すべき課題を整理し、2年目の活動では、住民による地域自治の維持をテーマとするのか、新たな地域コミュニティづくりをテーマとするのかについて検討する段階に至ることができた。

グループ会議の記録は、SNSを使い、欠席者へも内容を共有しながら会議を進めた。

① 運営メンバー

事務局

たかしま市民協働交流センター、高島市市民協働課

研究者チーム

木村道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）（以下「琵琶研」）

熊澤輝一、王 智弘（総合地球環境学研究所）

小野 聡（立命館大学政策科学部）

② 運営会議記録

日程	場所	内容
4月5日	市役所	第2期ふりかえり 第3期の目標とテーマについて
4月18日	市役所	第3期募集およびテーマについて

5月16日	市役所	第3期募集について 第1回全体会議 日程と内容について
5月29日	市役所	第2期委員へのふりかえり調査について
6月13日	市役所	第3期会議のロジックモデルワーク
7月18日	琵琶研	第3期委員の決定と事前ヒアリングについて 第1回全体会議について
8月9日	琵琶研	第1回全体会議のふりかえり グループ会議の進め方について
9月6日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について
10月7日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について
10月29日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について
12月9日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について
1月6日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について 第2回全体会議について
1月29日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について 第2回全体会議について
2月18日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について 第2回全体会議について
2月27日	まちづくりネ ット東近江	第2回全体会議でのファシリテーショングラフィック について打ち合わせ
3月10日	LINE 会議	第2期全体会議中止の補完活動について

③ 第3期委員募集の経過

5月23日 募集要項、募集チラシを公開

6月3日～28日 委員募集

広報先：93事業所（市内公共施設、金融機関、商業施設、観光施設、協力店舗など）

④ 委員の決定

応募作文による選考を行い、応募者18名から委員15名を決定した。

委員決定後、会議に向けて事前ヒアリングを行った。

⑤ 全体会議、グループ会議の記録

<第1回全体会議>

8月3日（土）13:30～15:30 新旭公民館

内容 参加者全員で哲学対話を実施。

手地学対話テーマ「高島市のバスの気になること」「あなたの気になる地域行事」

参加人数 委員11名、市民協働のまちづくり推進本部員13名、一般参加8名

<バス交通グループ会議> テーマ「市内のバス交通のあり方」

第1回	8月31日 都市政策課から市内バスの現状と課題について説明	委員 6名 推進本部員 1名 都市政策課 2名
第2回	9月21日 バスの現状と課題から明らかにしたい事を整理	委員 3名 推進本部員 2名
第3回	10月5日 活動・調べることについて整理	委員 4名 推進本部員 1名
第4回	10月25日 市内のバス交通に関する年表づくり	委員 3名
第5回	11月25日 年表づくり作業	委員 3名
第6回	12月12日 年表づくり作業終了、年表全体の確認	委員 2名 都市政策課 1名
第7回	1月16日 年表から気づいたこと、課題	委員 3名 推進本部員 1名 都市政策課 1名
第8回	2月14日 バス交通に関する現状と課題、気づいたこと 第2回全体会議準備	委員 4名

<地域行事グループ会議> テーマ「地域とのつながりを生み出すための地域行事」

第1回	8月29日 地域行事に関する対話	委員 5名
第2回	9月17日 各自が知っている地域行事について出し合い、分類	委員 4名 推進本部員 3名
第3回	10月3日 地域行事の分類と課題、調べたいことについて	委員 5名 推進本部員 2名
第4回	10月15日 関心のある地域行事について	委員 3名
第5回	11月7日 参加の動機を聞きあう	委員 5名
第6回	11月28日 地域コミュニティの現状と課題に関するレクチャー	委員 5名
第7回	12月19日 地域コミュニティの取り組み事例について	委員 3名
第8回	1月23日	委員3名

	地域コミュニティの課題整理 地域行事に関する事例紹介	推進本部員 2名
第9回	2月6日 従来の自治会活動と新たな地域コミュニティの活動 市民協働課から高島市の区・自治会の現状と新たな住民自治について説明	委員 3名 市民協働課 1名
第10回	2月20日 自治会活動、新たな地域コミュニティの現状と課題 第2回全体会議準備	委員 4名

<第2回全体会議>（感染症拡大防止のため中止）

（予定内容）

日時 2月29日（土）14：00～16：00 交流会16：00～（1時間程度）

場所 新旭公民館 多目的ホール

内容 各グループのこれまでの活動と気づきについて報告
会場参加者とともに意見交換

<一年目のふりかえり>

感染症拡大防止のため、2月末以降のグループ会議も中止と判断した。

各委員には、一年目のグループ活動をふりかえり、テーマに関しての学びや課題への理解、2年目に取り組みたい活動について作文の提出を求めた。



左上：第1回全体会議の哲学対話
右上：バス交通グループ会議
左下：地域行事グループ会議

5. 地域自治課題解決支援事業

<目的>

区・自治会の運営者への集落座談会意向調査では、広域での自治機能維持をめざす高島市の取り組みに関する説明と運営者の集落に関する認識および近隣集落間の関係性把握を目的に聞き取りを行った。

集落座談会は、座談会で明らかにされた地域の課題に対し、住民による課題への具体的な取り組みを促し、その活動によって住民の主体性を高めることを目的とした。集落座談会の実施支援では、座談会当日の運営以上に、事前の打ち合わせと座談会において明らかになった課題についてのふりかえりに重点を置き、区・自治会運営者の具体的な取り組みへの支援を目指した。

<成果>

集落座談会意向調査では、集落間の連携がある3地域を選び、13の区・自治会から聞き取りを行うことができた。調査のまとめは、市へ提出した。

集落座談会は打ち合わせと座談会実施などの支援を12の区・自治会で行った。ふりかえりを行い、次年度や今後に向けて具体的な取り組みにつながっている地域が出てきた。

(1) 集落座談会意向調査

○事前打ち合わせ

<5月16日 高島市社会福祉協議会>

市社会福祉協議会 地域福祉課と集落座談会意向調査について意見交換を行った。

調査に向けて、各支所まちづくり担当者および市社会福祉協議会の地域担当者に対し、調査に関する意見交換の機会を持つことを確認した。

<各支所での意見交換>

各支所のまちづくり担当者および市社会福祉協議会 各地域担当者に対し、調査について、目的を説明し、情報の共有等について確認した。

6月5日：今津支所 6月18日：マキノ支所

6月6日：高島支所 6月20日：新旭振興室

6月12日：安曇川支所 7月11日：朽木支所

○意向調査聞き取り内容

- ・区・自治会運営上の課題、気になっている事
- ・住民みんなで話す必要性を感じておられる事
- ・近隣の区・自治会と連携の実績、連携の可能性、連携できるテーマについて

配布資料：集落座談会チラシ、広報たかしま5月号(地域自治組織あり方検討委員会)、高島市地域コミュニティ推進指針(案)

① 広瀬小学校区(下古賀区、上古賀区、長尾区、中野自治会、南古賀区)

区・自治会	月日	対象	同席者
中野自治会	10月1日	自治会長	安曇川支所 市社協 安曇川担当
上古賀区	10月25日	区長	安曇川支所
下古賀区	10月30日	区長	安曇川支所 市社協 安曇川担当
南古賀区	11月19日	区長	安曇川支所
長尾区	11月29日	区長	安曇川支所

② 畑・黒谷地区（中溝自治会、畑区）

区・自治会	月日	対象	同席者
中溝自治会	12月8日	自治会長	高島支所
畑区	12月8日	区長 農事組合長	高島支所

③ 今津上地域（下弘部区、上弘部区、蘭生区、梅原団地自治会、大床区、岸脇区）

区・自治会	月日	対象	同席者
下弘部区	2月17日	区長 福祉推進委員長	今津支所
上弘部区	2月23日	区長 福祉推進委員長	今津支所
梅原団地自治会	3月12日	自治会長 次期自治会長 福祉推進委員長	今津支所 市社協 今津担当
蘭生区	3月18日	区長 会計 福祉推進委員長	今津支所
岸脇区	3月23日	区長	今津支所
大床区	3月29日	区長 福祉推進委員長 民生委員児童委員	今津支所

(2) 集落座談会実施支援

集落座談会は、支所、市社会福祉協議会 地域担当者、市民協働交流センターの3者で連携して実施した。

<集落座談会開催の流れ>

打合せ1) 区長と座談会の目的、テーマについて打ち合わせ

打合せ2) 当日の資料、進行方法などを打ち合わせ

必要な場合は、別途区長とも再度打ち合わせ

座談会当日) 進行：支所

情報提供・ワークの進行：市社会福祉協議会 地域担当

市民協働交流センター

ふりかえり会) 区長と座談会の記録を資料にふりかえりを行い、具体的な取り組みを検討
座談会の内容が、資料提供が主な場合は、ふりかえり会は実施しなかった。

① 榑自治会（高島）

7月8日 区長から集落座談会について相談（高島支所）

※区民だよりで地域の気になることを集め、今後、気になることを話せる場を持つとのことで、座談会は見送り。

② 西区（今津）

8月7日 区長と打ち合わせ（今津支所）

8月30日 当日資料や進行方法について打ち合わせ（今津支所）

9月5日 西区年間行事について聞き取り（協働交流センター）
9月22日 座談会 参加者：19名（西区会館）
11月27日 区長とふりかり会（今津支所）
※次年度の行事で座談会で出された提案を活かす予定。

③ 在原区（マキノ）

9月13日 区長と打ち合わせ（マキノ支所）
10月4日 当日資料や進行について打ち合わせ（在原草の根ハウス）
10月13日 座談会 参加者25名（子ども4名）（在原草の根ハウス）
12月12日 区長とふりかえり会（マキノ支所）
※課題に関して、地域の福祉事業所が対応を検討し、継続相談で対応している。

④ 保坂区（今津）

11月8日 区長と打ち合わせ（今津支所）
11月15日 座談会 参加者：15名（保坂区集会所）

⑤ 角川区（今津）

11月8日 区長と打ち合わせ（今津支所）
11月15日 当日資料や進行について打ち合わせ（今津支所）
11月22日 座談会 参加者：15名（角川区生活改良センター）
※一次避難所の補強など具体的対策をされている。

⑥ 横江浜区（安曇川）

11月14日 区長と打ち合わせ（横江浜区集会所）

⑦ 古川区（朽木）

11月29日 当日資料や進行について打ち合わせ（朽木支所）
12月2日 座談会 参加者：6名（古川区集会所）
※地域の居場所へのアクセスについて市社会福祉協議会 地域担当者へつないだ。

⑧ 椋川区（今津）

1月20日 区長と打ち合わせ（今津支所）
1月25日 座談会 参加者：8名（椋川区多目的研修所）

⑨ 荒川女性の会（朽木）

1月23日 当日資料や進行について打ち合わせ（朽木支所）
1月28日 座談会 参加者：12名（荒川区集会所）

⑩ 天増川区（今津）

2月5日 区長と打ち合わせ（今津支所）
2月23日 座談会 参加者：7名（天増川区集会所）

⑪ 北船木区（安曇川）

2月7日 区長と打ち合わせ（安曇川支所）
※3月1日に座談会開催予定だったが、感染症対策のため中止

⑫ 米井区（新旭）

2月26日 区長と打ち合わせ（市役所）※4月の総会時に集落残会を開催予定

(3) マキノ北地域の移動支援

社会福祉法人たかしま会の地域貢献「地域の足」事業の実施に向け、マキノ支所、市社会福祉協議会マキノ地域担当、市民協働交流センターで相談に対応している。
→詳細は2. 相談支援事業にあり。

(4) 地域自治組織あり方検討委員会

オブザーバーとして参加した。

第2回 5月31日

事例（島根県雲南市、米原市）紹介、地域別ワーク

第3回 7月29日

これまでの議論の整理

第4回 10月8日

中学校区での自治組織のメリット、デメリット

第5回 11月18日

地域コミュニティ推進指針について

第6回 12月26日



左上：9月22日西区集落座談会
右上：11月22日角川区集落座談会
左下：1月28日荒川女性の会集落座談会

6. 研修等参加記録

<目的>

新スタッフが中間支援組織の基礎について学ぶ目的で研修に参加した。市民活動センター意見交換会は、他市のセンターとの情報交換、スキルアップを目的に参加した。外部組織の会議へは、他分野の現状把握と情報交換を目的に参加した。

<成果>

新スタッフは研修によって中間支援組織の基礎が理解でき業務に活かすことができた。また、市民活動センター意見交換会で、他市のセンターの活動内容を知ることができた。生活つむぎあい会議や福祉推進計画策定委員会では、住民自治組織とのつながりを考えながら参加し、参加組織の取組みなどから自治組織支援の業務に活かせる情報を得ることができた。

(1) 研修参加記録

- ① 2019年度中間支援組織支援センター役職員向け合同研修会
4月26日 岡山県ボランティア・NPO活動支援センターゆうあいセンター
研修テーマ「平時も災害時も「あって良かった」「助かった」と言われる支援組織であるために」
- ② 市民活動支援センター意見交換会
8月9日 県民交流センター（ピアザ淡海）
各支援センターの活動紹介、相談内容の統一について
- ③ 高島市木質バイオマス利活用検討会
11月10日 森林公園くつきの森
高島市における薪ストーブ利用状況調査より
くつき木の駅プロジェクトの取組報告

(2) 外部委員会等参加記録

- ① 高島トレイル連携協議会
定期総会 4月24日 観光物産プラザ
- ② 高島市地域生活つむぎあい会議
第1回 7月25日 市役所
第2回 1月16日 市役所
- ③ 第三次地域福祉推進計画策定委員会
第1回 9月10日 高島支所
第2回 11月19日 高島支所
- ④ 高島市食育ネットワーク
登録団体交流会 9月27日 市役所
- ⑤ 高島市生活困窮者自立相談支援機関運営委員会
子どもの貧困対策情報交換会
11月28日 安曇川公民館

- ⑥ 全国棚田(千枚田)サミット実行委員会
 - 第1回準備会 10月3日 市役所
 - 第2回準備会 10月30日 市役所
 - 第3回準備会 11月28日 市役所
 - 第1回運営委員会 2月13日 市役所

7. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

<目的>

高島市内の生活支援や介護予防につながるサービスを、市民や市民活動団体および事業者が持続的に担う体制を整える目的で、市内の生活支援や介護予防サービスなどの地域資源を集約した。今年度の地域資源集約冊子「たかしまお役立ち情報」は、高齢者の社会参加の増加をめざし、高齢者が集う居場所、サークルやボランティア活動の紹介ページの充実をめざした。また、生活支援に関わる市民グループと事業者の交流会を企画し、相互の情報交換と連携の機会づくりをめざした。

<成果>

「たかしまお役立ち情報」では、区・自治会の範囲で運営される「地域の居場所」、誰もが集まれる場所として「みんなの居場所」、高齢者の活発なサークル活動やボランティア活動事例などのページを増やすことができた。

交流会については、多様な事業者にご理解いただくことができ、参加に前向きになっていたのだが、感染症拡大防止のため中止となった。

(1) 高島市生活支援コーディネーター定例会・高島市生活支援体制整備協議体会議

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、高島市の生活支援体制整備協議体の運営と研修や視察内容について検討した。

第1回定例会 4月26日（金）14:00～15:00 高島市社会福祉協議会

平成31年度の計画について、役割分担について

第2回定例会 5月15日（水）10:00～12:00 高島市社会福祉協議会

年間活動計画について

第3回定例会 6月11日（火）10:00～12:00 高島市社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーターの活動報告

第4回定例会 7月11日（木）13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

協議体会議の進め方について、協議体会議の年間予定

第1回生活支援体制整備協議体会議 7月31日（水）13:30-15:30 高島市市役所

生活支援コーディネーターと協議体会議の役割について

グループワーク①「こんなサービスがあったらいいな」

グループワーク②「主体的な活動が長続きするための秘訣」

第5回定例会 8月23日（金）17:30～19:30 わたしょう

第1回協議体会議の振り返りについて

第6回定例会 9月11日（水）15:30～17:30 市役所

第1層、第2層生活支援コーディネータ活動報告について

第7回定例会 10月8日（火）10:00～12:00 高島市社会福祉協議会

第2回協議体会議の進め方について

- 第2回生活支援体制整備協議体会議 10月25日(金) 13:30-15:30 高島市市役所
 第1層、第2層生活支援コーディネーター活動報告
 グループワーク①「多様な活動をたかしまお役立ち情報や市のHPに掲載する場合、
 掲載項目や内容や種別(区分)について」
 グループワーク②「多様な活動について、ほかに市民に効果的な周知する方法」
 第8回定例会 11月12日(火) 15:30~17:30 高島市社会福祉協議会
 第2回協議体会議の振り返り グループワークまとめ
 第9回定例会 12月12日(木) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会
 第1層、第2層生活支援コーディネーター活動報告について
 第10回定例会 1月14日(火) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会
 第1層、第2層生活支援コーディネーター活動報告について
 第11回定例会 2月10日(月) 10:00~12:00 高島市社会福祉協議会
 たかしまお役立ち情報冊子配布先について
 第12回定例会 3月10日(火) 10:00~12:00 高島市社会福祉協議会
 今年度の振り返り
 第3回生活支援体制整備協議体会議 3月23日(水) 中止

(2) 研修参加

<滋賀県生活支援コーディネーター研修>

滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修

7月1日(月) 10:00-16:30 県立長寿社会福祉センター

第1回生活支援C学習・情報交換会

9月13日(金) 13:00-16:30 大津ふれあいプラザ

第2回生活支援C学習・情報交換会

1月20日(月) 13:00-16:30 県立長寿社会福祉センター

<外部研修>

まちのわ会議 愛東町移動支援を考える

6月19日(水) 13:30~15:30 愛東支所

高島市認知症フォーラム~集い・支え合い・広がる地域の輪~

9月25日(水) 13:30-16:00 あどがわふれあいセンター

自分らしく生きるための終活講座

10月2日(水) 13:30-16:00 安曇川公民館2F

住民参加支え合いフォーラム

2月18日(火) 13:30-16:30 草津市立民交流プラザ大会議室

<滋賀県我がまち地域包括ケアを考える研修会>

我がまちの地域包括ケアを考える研修会

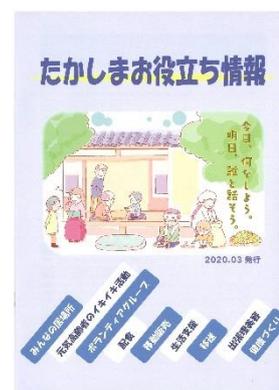
7月24日(水) 13:30-16:30 湖東信用金庫近江八幡支店
我がまちの地域包括ケアを考える研修会 実践報告会

2月5日(水) 13:30-16:30 草津市立民交流プラザ大会議室

(3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行

生活のお役立ち情報に加え、高齢になっても社会参加の機会が維持されることを目的に、「地域の居場所」、「みんなの居場所」、「元気高齢者のイキイキ活動」、「ボランティアグループ」のページの情報を集めるため、市内の居場所、サロン、主に高齢者の文化やスポーツサークルなどを訪問した。

生活のお役立ち情報に掲載する新たな事業者の発掘については、高島市商工会から会員への定期発送で、冊子への情報提供についての依頼文を同封していただいた。



発行部数 1,000部

配布先 市地域包括支援課から関係機関へ

掲載事業者、掲載の居場所グループやサークルなど

必要とされる市民

(4) マキノ・今津地域における事業者の生活支援に関する交流会(中止)

<目的>

高齢者の買い物や移動等、生活支援全般について、市内各地で課題になっている中、市民や事業者による移動支援、配達サービスが行われている。昨年に続き、マキノ、今津地域を対象に企業、事業者に市内の現状を理解していただく機会を持ち、事業を通して、あるいは地域貢献として高齢者の安心と持続可能な暮らしについて、できることを考えていただく機会を作ることを目的とした。

<成果>

昨年参加された事業者に加え、新たな事業者にも目的を説明し、趣旨を理解された。

日時 3月11日(水) 13:30~15:30

会場 今津東コミセン 中会議室

参加者 20名

<参加を呼びかけた団体・事業者>

・A コープ今津・ホテル可以登楼・キリン堂近江今津店・ドラッグユタカ今津店・アヤハディオ今津店・コメリ今津店・セブンイレブン・マキノ病院・シルバー人材センター・クック123(シニアライフクリエイト)・マキノ移動販売・はびねすマキノ・アルバ(ティラピス教室)・今津ふくしの会・マキノぬくもり福祉ネットワーク・関心のある事業者や一般参加者

8. 「たかしまの森へ行こう！」～森と人がつながるプロジェクト～

<目的>

平成27年度から、高島市の森林資源の持続的な活用と、多面的機能について森林所有者・林業関係者・市民活動団体・消費者・行政など様々な利害関係者が互いに学び合いながら、ゆるやかなネットワークの形成を目指して活動を続けている。

今年度は森林公園くつきの森(管理者：NPO 法人麻生里山センター)と連携し、継続的に森に関わる市民を増やすことを目的に、市民による森林調査と炭窯づくりを行った。また、市内の炭焼きを行うグループと炭焼きに関心を持つ市民の交流会を企画し、炭焼きに関する技術の継承や販路の開拓などについての情報交換、関心のある市民と炭焼き実施グループとの出会いを目的とした。

未来ファンドおうみ「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」の助成を受け活動した。

<成果>

市民による森林調査は、初回に市民による森の健康診断を普及している丹羽健司さんを迎え、講演会と調査体験会を実施した。その後4回の開催で7か所の調査を行い、くつきの森スタッフで5か所調査が行われ、全体で12か所の調査が実施された。数名が継続的に参加し、次年度は調査グループのリーダーとしての活躍を期待している。くつきの森の調査は2年間の計画であり、調査グループリーダーの増加により参加者を増やすことが可能となる。

炭窯づくりは、のべ65人が作業に参加。資材の調達と感染症拡大防止の対策から、完成は次年度に持ち越された。炭焼きに関する交流会は感染症拡大防止のため中止とした。

<運営協力組織>

NPO法人麻生里山センター/NPO法人結びめ/巨木と水源の郷をまもる会/くつき木の駅プロジェクト/たかしま森林セラピー/結いの里・椋川/高島市森林組合/マキノ高原観光株式会社/(一社)安曇川流域・森と家づくりの会/近江通商株式会社/滋賀県西部・南部森林整備事務所/滋賀県琵琶湖環境科学研究所/総合地球環境学研究所/高島市森林水産課

[1] 勉強会・イベント等の開催

(1) 市民による森林調査 ”くつきの森で森のカルテをつくろう！”

	開催日	参加人数	内容
第1回	6/8	17	丹羽 健司氏 (森の健康診断出前隊代表) による講演会 森の健康診断体験
第2回	7/13	14	人工林100㎡ (10m x 10m) + 自然林 (10m x 10m)
第3回	9/14	13	人工林100㎡ (10m x 10m) + 自然林 (10m x 10m)
第4回	11/9	13	自然林400㎡ (20m x 20m)
第5回	12/7	12	自然林400㎡ (20m x 20m) + 自然林100㎡ (10m x 10m)
第6回	3/21		◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



- 調査現場で、森林の健康状況が詳細に分かることが、参加者には好評だった。
- 参加者には家族連れのほか、山林所有者や樹木医の方の参加もあった。
- 継続して参加された方には、次年度は調査チームの「リーダー」として活躍していただけることを期待したい。(くつきの森のカルテづくりは本年度、次年度2年間実施予定)

(2) “くつきの森 炭がま復活プロジェクト” - 炭がま復活に市民協働の力を

朽木地域の主な産業であり、森林を持続的に利用する木炭生産に不可欠な「炭がま」を、くつきの森で地域内外の市民が参加し蘇らせ、森林の持続的な活用と地域の活性化のきっかけとなることを期待して企画した。また、地元には伝わる炭がまの建築手法の確認と継承への貢献も視野に入れている。

	開催日	参加人数	内容
第1回	9/29	27	プロジェクト説明、炭窯設営予定地の成形、石運び
第2回	10/27	14	石運び、石積み、壁土作り、壁土塗り
第3回	12/1	14	壁土作り、壁土塗り、炭焼き用原木集め

- 第1回作業については新聞に掲載された。(京都新聞、朝日新聞、毎日新聞)
- 作業は朽木・麻生の方の指導・支援のもと、伝統的な手法を踏襲して実施したが、資材の不足が生じ、進捗は予定より遅延した。他地域の炭焼きグループ等から情報・助言をいただき、次年度の完成を目指している。
- 次年度は、この炭がまを使い、炭焼き体験会や炭に関するワークショップ開催を行い、森林や炭焼きに関心のある市民を増やしていきたい。



(3) 「たかしま炭焼き交流会」

高島市内で炭焼きを行なうグループと、高島市内外で炭焼きや森林環境の保全に関心のある市民との交流会を企画した。交流会を通して、市内各所の炭焼き実施グループの情報交換と炭焼きに対する市民の関心が高まり、里山の維持や炭の生産に関わる市民が増えること、高齢化する木炭生産者の技術を次世代に伝えるきっかけにつながることを期待した。

3月14日（土）開催予定だったが、感染症拡大防止のため中止



[2] 情報発信

(1) ネットへの情報発信

令和元年度は、「たかしまの森へ行こう！」サイトを刷新し、ブログ機能を活用したイベントの告知・報告と、たかしま市民協働交流センターのブログや森林公園くつきの森のイベント情報ブログとの連携に努めた。

イベント告知	11記事
イベントレポート	14記事
スタッフ所感等	4記事
イベント中止	4記事

(2) ユリノキ祭り 2019 への出展

5月19日(日)に森林公園くつきの森 ユリノキ広場で開催された「ユリノキ祭り」に、「たかしまの森へ行こう！」プロジェクトとしてブースを出展し、来場者にたかしまの森林への関心を高めるきっかけを提供した。当日入場者は約 400 名。

出展内容: 「たかしまの森へ行こう！」プロジェクトの紹介、物品等販売(巨木と水源の郷をまもる会、木の駅プロジェクト)、書籍販売(海青社)、全国植樹祭のPR(滋賀県西部南部森林整備事務所)



(3) 常時配布用チラシの作成

「たかしまの森へ行こう！」プロジェクトを紹介するチラシについては、これまでイベント開催時に作成・配布してきたが、常時配布できるものを作成し、今津東コミュニティセンター、および森林公園くつきの森に配置した。

併せて、「たかしま炭焼き交流会」で提供予定だった高島市内の炭焼きグループに関する情報も、「たかしま炭焼きマップ」を作成して今津東コミュニティセンターおよび森林公園くつきの森に配置している。



[3] 運営会議・打ち合わせ等

	開催日	出席人数	内容
第1回	5/13	10	① 2019年度の企画について ② ユリノキまつり出展について ③ 「たかしまの森へ行こう！」プロジェクト サイトの刷新について
第2回	7/2	7	① ユリノキまつりふり返し ② 「森のカルテをつくろう！」第1回について 振り返り ③ 「森のカルテをつくろう！」第2回以降について ④ 「くつきの森の炭窯づくり(仮称)」について ⑤ 「たかしまの森へ行こう！」プロジェクト サイト ブログについて
第3回	8/26	8	① 「森のカルテをつくろう！」第2回について 振り返り ② 「森のカルテをつくろう！」第3回について ③ 「くつきの森の炭窯づくり(仮称)」改め「くつきの森 炭がま復活プロジェクト」について ④ 2020年3月予定「炭焼き交流会」について
第4回	9/19	5	① くつきの森で森のカルテをつくろう! 第3回振り返り ② くつきの森 炭がま復活プロジェクト 第1回情報連携 ③ たかしま炭焼き交流会 について(概要について)
第5回	10/3	6	① くつきの森 炭がま復活プロジェクト 第1回振り返り ② くつきの森 炭がま復活プロジェクト 第2回情報連携 ③ くつきの森で森のカルテをつくろう! 第4回情報連携 ④ たかしま炭焼き交流会について(構成について)
打ち合わせ	11/12	5	大阪府能勢町 能勢さとやま交流館 代表 小谷 義隆氏と打ち合わせ * 「たかしま炭焼き交流会」で企画した講演会について
第6回	11/18	6	① くつきの森 炭がま復活プロジェクト 第2回振り返り 第3回情報連携 ② くつきの森で森のカルテをつくろう 第4回振り返り 第5回情報連携 ③ たかしま炭焼き交流会 について (能勢さとやま交流館 訪問報告)
第7回	12/11	5	① くつきの森 炭がま復活プロジェクト 第3回振り返り ② くつきの森で森のカルテをつくろう! 第5回振り返り ③ たかしま炭焼き交流会 について(広報について)
第8回	1/30	4	① くつきの森 炭がま設営作業 進捗について ② たかしま炭焼き交流会 準備について ③ くつきの森で森のカルテをつくろう! 第6回について ④ 2020年度 未来ファンドおうみ助成事業 助成金申請について
第9回	2/20	5	① くつきの森 炭がま設営作業 進捗について ② たかしま炭焼き交流会 準備について
第10回	3/9	5	① 2020年度 未来ファンドおうみ助成事業 助成金について ② 新型コロナウィルスによるイベント中止について ③ 2019年度助成金の使用用途の変更について

運営会議は、第1回と第10回は今津東コミュニティセンター、第2回から第9回までは今津東コミュニティセンター改修工事に伴い森林公園くつきの森で開催した。

Ⅲ 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

7月～2020年2月：改修工事に伴う休館

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年 1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
和室大	団体数	19	19	24	0	0	0	0	0	0	0	0	4	66	113	-47
	人数	210	229	792	0	0	0	0	0	0	0	0	57	1288	2366	-1078
和室小	団体数	21	21	25	0	0	0	0	0	0	0	0	11	78	135	-57
	人数	117	90	197	0	0	0	0	0	0	0	0	84	488	859	-371
会議室(1)	団体数	25	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	3	82	139	-57
	人数	179	150	460	0	0	0	0	0	0	0	0	19	808	1437	-629
会議室(2)	団体数	11	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	11	60	109	-49
	人数	68	98	248	0	0	0	0	0	0	0	0	87	501	934	-433
会議室(3)	団体数	28	33	34	0	0	0	0	0	0	0	0	27	122	216	-94
	人数	183	256	393	0	0	0	0	0	0	0	0	145	977	1771	-794
調理実習室	団体数	4	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18	32	-14
	人数	69	83	102	0	0	0	0	0	0	0	0	57	311	553	-242
大ホール	団体数	20	25	29	0	0	0	0	0	0	0	0	8	82	144	-62
	人数	344	902	1266	0	0	0	0	0	0	0	0	163	2675	5006	-2331
1F展示・ロビー	人数	351	333	461	0	0	0	0	0	0	0	0	542	1687	3023	-1336
合計	団体数	128	148	164	0	0	0	0	0	0	0	0	68	508	2030	-1522
	人数	1521	2141	3919	0	0	0	0	0	0	0	0	1154	8735	30467	-21732
前年度	団体数	159	176	168	147	131	168	181	187	164	180	201	168	2030		
	人数	2002	2450	2604	2288	1653	2424	2259	3252	2188	2049	2788	4510	30467		
前年比	団体数	-31	-28	-4	-147	-131	-168	-181	-187	-164	-180	-201	-100	-1522		
	人数	-481	-309	1315	-2288	-1653	-2424	-2259	-3252	-2188	-2049	-2788	-3356	-21732		

※利用拒否件数 0件

※3月に会議室名の名称が変更されましたが、この表では変更前の会議室に利用数を記録しています。

(変更前の名称)→(変更後の名称)

和室大→和室1	和室小→和室2	会議室(1)→中会議室	会議室(2)→会議室1	会議室(3)→会議室2
---------	---------	-------------	-------------	-------------

2. ロビー展示他

(1) ロビー展示利用促進

展示希望団体の募集を行い、展示ホールをさまざまな団体の展示で活用し、展示団体と来場者の交流を促進した。

①今津押し花クラブ	5月22日～30日
②水彩画サークル彩琶	6月1日～14日
③湖西水墨画会	6月17日～22日
④あけぼの墨絵クラブ	2020年 3月1日～11日
⑤湖西蘭友会	3月20日～21日
⑥デジタルカメラ勉強会	3月22日～4月3日

(2) 情報発信について

①HP および SNS による情報発信

インターネット上での情報発信として、東コミセンのHPで開催情報と報告を掲載した。同時に、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックページでHPの記事をシェアした。

②東コミセンだより（4月、5月、6月：3回発行）

東コミセンおよび協働交流センターからのお知らせや自主事業の広報、館内の催し物、ロビー展示会情報等を壁新聞形式で各部屋に掲示した。また市内公共施設にも送付した。

3. 今津東コミュニティセンター自主事業報告

事業名	日程	参加者	内容
認知症サポーター養成講座	4/23	14	認知症の特性や種類、認知症の人への接し方など基本的なことについて学ぶ機会を提供。
広域避難所運営体験	6/12	18	災害時に避難所を運営する体験として、中浜区、北浜区の方々と一緒に意識共有・課題共有した。

はじめてのスマートフォン講座	7/3	12	講師に NPO 法人湖南ネットしがを招き、60 歳以上を対象に、練習機を使ってスマートフォンの基本的な操作方法やグーグルマップ、ラインなどの使い方について学ぶ機会を提供した。
世界の台所	6/8	20	ブラジル料理(家庭料理パステル)を調理した。
みんなのほんだな	4月～ 6月	-	東コミセン 1 階ロビーの利用促進を目的に、みんなでシェアする本の物々交換所「みんなのほんだな 東コミセン」を設置し、本による市民の交流の機会を提供した。

写真

ロビー展示 (今津押し花クラブ)



中浜区・北浜区広域避難所運営体験



世界の台所



認知症サポーター養成講座

